

科目コード	2658240
学習センター	宮城学習センター
学習センターコード	04A
クラスコード	WK
科目名	心理学実験(基礎)
科目区分	専門科目:心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワダ ユウイチ 和田 裕一 (東北大学大学院情報科学研究科准教授)
日程 実施時間	第1回オンデマンド授業 第2回オンデマンド授業 第3回Zoom授業 2024年11月12日(火)第1時限 09:50~11:20 第4回Zoom授業 2024年11月12日(火)第2時限 11:30~13:00 第5回オンデマンド授業 第6回Zoom授業 2024年11月19日(火)第1時限 09:50~11:20 第7回Zoom授業 2024年11月19日(火)第2時限 11:30~13:00 第8回オンデマンド授業 第9回Zoom授業 2024年11月26日(火)第1時限 09:50~11:20 第10回Zoom授業 2024年11月26日(火)第2時限 11:30~13:00 第11回オンデマンド授業 第12回Zoom授業 2024年12月03日(火)第1時限 09:50~11:20 第13回Zoom授業 2024年12月03日(火)第2時限 11:30~13:00 第14回オンデマンド授業 第15回オンデマンド授業
実施会場	この授業は、[ライブWeb授業のため自宅等(学習センターでの受講は不可)]で行います。

【授業内容】

実験を中心とした心理学の基礎的な課題の実習を行います。受講生の皆さんはそれぞれに「実験参加者」もしくは「実験者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。実習課題は日常記憶、連想プライミング、空書、思考過程のプロトコル分析(以降、プロトコル分析)の4つです。皆さんは、8コマの同時双方向授業を含む15コマの実習すべてに参加し、上記4つの課題について、心理学の標準的な形式に則った実験レポートをそれぞれ提出する必要があります。

なお、Zoom授業回・オンデマンド授業回のいずれにおいても、受講生同士でコミュニケーションをとったり、一つの作業を共同して行う機会が複数回あります。

【授業テーマ】

第1回心理学の研究法

第2回実験法の特徴

第3回日常記憶①:実施と解説、結果の集計

第4回日常記憶②:ディスカッション、レポートの書き方

第5回日常記憶③:レポート作成・提出

第6回日常記憶④:レポートの相互評価

第7回統計的分析

第8回日常記憶⑤:レポート再提出、連想プライミング①:実施と解説

第9回連想プライミング②:結果の集計・ディスカッション

第10回実験計画・立案:ディスカッションとプレゼンテーション

第11回連想プライミング③:レポート作成・提出、空書①:実施と解説

第12回空書②:結果の集計・ディスカッション

第13回プロトコル分析①:実施と解説、結果の集計

第14回連想プライミング④:レポートの相互評価、プロトコル分析②:ディスカッション

第15回空書③・プロトコル分析③:レポートの作成・提出

【学生へのメッセージ】

本科目を履修して合格すれば、認定心理士資格の取得に必要な領域の認定単位2単位分を修得することができます。また、公認心理師カリキュラムの「大学における必要な科目」の「心理学実験」対応科目として利用することができます。

【受講前の準備学習等】

この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。

実習課題の内容について、あらかじめ学習しておく必要はありません。

シラバスの内容から判断して予習・復習に努めてください。

受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。

【受講に必要な条件】

以下の①~③の条件をすべて満たした方がのみが受講可能です。

授業は各ソフトウェアの基本操作をあらかじめ身につけていることを前提に進めます。

①必要な機器やソフトウェアが揃っていること

・キーボード及びマイクが装備されたパソコン(オンラインで実施する実験に参加する際にキーボードが付いたパソコンが必要です。マイクはZoomの同時双方向授業で使用します。)

・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。

・Microsoft Office (Word/Excel)、あるいはこれらに相当するソフトウェア(レポートの作成やデータの集計等に必要ですので、使用するパソコンにインストールされていることをご確認ください)

②Microsoft Office、あるいはこれらに相当するソフトウェアの基本操作ができること

Microsoft Excelでは平均値や標準偏差等を計算するために、基本的な関数を用います。操作に自信がない方は、放送大学自己学習サイト(システム WAKABA からアクセスできます)であらかじめ自習し、ひとりの操作ができるようにしておいてください。

③Zoomと専用システムの基本操作ができること

この科目では、Zoomと専用システムを利用して授業を行います。

「ライブWeb授業体験版」を用意していますので、事前にアクセスし、スムーズに利用できるようにしておいてください。

【成績評価の方法】

授業中の学習状況及び4つの実験課題への参加と、それに係る作業(データの集計等)やディスカッション、及び形式に則って作成するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

インターネットに接続可能で、Microsoft Office(Word/Excel)がインストールされたパソコン、

マイク・ヘッドフォン、メモをするための筆記具と用紙(A4程度)。

Microsoft Officeについては、他社の同等ソフトの使用も認めますが、授業内で使用方法の説明はしません。またExcelでしかできない活動があることに留意ください(※Microsoft ExcelのVBAで動く統計分析ソフト(HAD)を使用することがあります)。

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(日本心理学会 認定心理士資格認定委員会 編/金子書房/¥2,750/ISBN=9784760830312)

【その他(特記事項)】

Webカメラの準備を推奨します。

「ライブWeb授業」は、Web会議システム(Zoom)を利用して授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。

学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。

Zoom授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想的講義室(Zoomミーティング)へもそこから入室します。

また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。

受講の際には必ず当該システムを確認してください。

詳細については、

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/>

を参照ください。

【単位数とコマ数について】

本科目は2単位15コマの授業です。詳細については、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。